

## 第18回全国高等学校なぎなた選抜大会における 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

大会開催に当たっては、スポーツ庁・文化庁「中学生・高校生を対象とした全国大会・コンクール等における感染拡大予防ガイドライン」、公益財団法人日本スポーツ協会「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大防止ガイドライン」、公益財団法人全国高等学校体育連盟「全国高等学校総合体育大会実施時における新型コロナウイルス感染拡大防止等に関する基本方針」【第3版】、公益財団法人全日本なぎなた連盟の「行事(活動)再開に向けた感染拡大防止ガイドライン」、公益財団法人全国高等学校体育連盟なぎなた専門部「全国高等学校総合体育大会実施における新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する基本方針—なぎなた競技における対応策—(第2版)及び以下の記載事項を遵守する。

### 1. 大会参加者、感染者、濃厚接触者、体調不良者の定義

#### ① 大会参加者

##### ア チーム関係者

監督、選手、練習相手、引率責任者とする。

##### イ 大会関係者

競技役員、報道関係者、出店者、その他大会主催者が認めた者

#### ② 感染者

医療機関による診断の結果、感染者と判定された者。感染者の発生日とは症状が出始めた日とし、発症日が不明の場合は陽性と判定された検体採取日とする。

#### ③ 濃厚接触者

所管保健所等により濃厚接触者と判断された者。濃厚接触者の発生日とは感染者と接触した日とする。(複数日の場合には大会に最も近い日)

#### ④ 体調不良者

発熱(37.5度以上)や風邪症状(咳、のどの痛み)、だるさや息苦しさ、味覚の異常など『体調管理表(別紙②)』のチェック項目のアからオに該当する者。

### 2. 新型コロナウイルス感染拡大防止のための作成書類について

① すべての大会参加者は、『体調管理表(別紙②)』を作成し、『体調管理チェックシート(別紙⑤)』を持参して受付に提出する。

② 監督・引率責任者は、『体調管理集約シート(別紙④)』を受付で提出する。

### 3. 大会参加にあたっての留意点

大会参加者は、安全・安心な大会運営のため、大会期間中のみならず、日頃から体調管理に十分に留意する。出場チームの大会出場辞退等の判断は、参加校の責任において行うことを原則とする。大会参加の判断基準は【付表1】のとおりとする。

【付表1】

大会参加の判断基準

療養・待機の期間や解除の条件は、厚生労働省の定める方針による

大会初日に最短で参加できるパターンです。状況に応じてずらして当てはめてください。なお、療養・待機期間の解除については、医療機関等の指示に従ってください。

・本人の場合

×出場辞退

○出場可能

●陰性・非感染者判定後出場可

状況		発症日等		9日前	8日前	7日前	6日前	5日前	4日前	3日前	2日前	1日前	大会1日目	2日目
		3月16日	3月17日	3月18日	3月19日	3月20日	3月21日	3月22日	3月23日	3月24日	3月25日	3月26日		
感染者 (有症状)	療養(発症日を0日として、7日間の療養かつ、軽快後72時間経過)が解除された場合は、参加校の責任において参加可能		発症日	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
感染者 (無症状)	待機期間(検体採取日を0日として、待機期間7日とし、8日目に解除)が終了した場合、参加校の責任において参加可能とする		検体採取日	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
濃厚接触者	待機期間(最終接触日を0日として、待機期間5日とし、6日目に解除)が終了した場合、参加校の責任において参加可能とする					最終接触日	×	×	×	×	×	×	○	○
	待機期間(2日目、3日目に抗原検査で陰性の場合)が終了した場合、参加校の責任において参加可能とする									最終接触日	×	× 要検査 (陰性)	● 要検査 (陰性)	○
体調不良者※1	医療機関を受診し、非感染者と診断・判定され、体調改善を踏まえた上で、参加校の責任において参加可能とする												●	●

※1 体調不良を訴えた当日に医療機関を受診し、非感染者と診断された場合は、その日より出場可能

・チームの場合(感染者以外の帯同者の対応)

状況		発症日等		9日前	8日前	7日前	6日前	5日前	4日前	3日前	2日前	1日前	大会1日目	2日目
		3月16日	3月17日	3月18日	3月19日	3月20日	3月21日	3月22日	3月23日	3月24日	3月25日	3月26日		
感染者が発生	感染者と接触のあった最後の日から、濃厚接触者の待機期間とされる日数(発症日を0日として、待機期間5日とし、6日目に解除)の間、出場を辞退する					最終接触日	×	×	×	×	×	×	○	○
	感染者と接触のあった最後の日から、濃厚接触者の待機期間とされる日数(2日目、3日目に抗原検査で陰性の場合)の間、出場を辞退する									最終接触日	×	× 要検査 (陰性)	● 要検査 (陰性)	○
濃厚接触者 体調不良者が発生	濃厚接触者・体調不良者が医療機関等で非感染者と診断・判定される、又はPCR検査等で陰性が判定されるまでの期間※2は、出場を辞退する。												●	●

※2 体調不良を訴えた当日に医療機関を受診し、非感染者と診断もしくは、PCR検査等で陰性と判断された場合は、その日より出場可能

#### 4. 大会主催者が遵守すべき事項

##### ① 大会参加前

ア 参加する前に保護者やチーム関係者に対し、感染者等が発生した場合には、付添いや迎え、医療機関等において療養等が必要となる場合があることを周知徹底しておく。

##### ② 大会参加当日

ア 会場出入り口・トイレなど、所定の場所に手指消毒剤を設置する。

イ 会場到着時や試合の前後・食事の前後などに参加者が手洗いをこまめに行うようアナウンスをする。

ウ 手洗い場・トイレに「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。

エ 手洗い場に石けんの準備をする。(手洗いが難しいようなら、手指消毒のアルコール等を準備する。)

オ 更衣の際には、更衣室に1度に入室する人数を、入口に掲示する。感染予防と更衣室の規模を考慮し、自宅や宿舎から直接来場する選手に対して、事前に着替えを済ませて来るよう事前に通知する。

カ 会場内は、換気設備を適切に運転するなどして、換気を徹底する。

キ 選手の入退場や待機場所などでの、密集を回避するための人員の配置や動線の確保を行う。

ク 大会会場内に「大きな声での会話をしない」・「声での応援をしない」等の掲示をする。

ケ 会場施設内で、複数の参加者が触れたと考えられる場所については、消毒する。

コ 飲食については、所定の場所以外では行わず、対面を避け、できるだけ周囲と間隔を取って、会話をひかえて速やかに済ませるよう指示する。

サ 大会前後の移動による感染防止として、公共交通機関による3密の回避を目的とした、宿舎-会場間の直行バスの利用を促す。

シ ゴミの廃棄について、鼻水や唾液などがついたゴミはビニール袋に入れ密閉して捨てるよう指示する。ゴミの回収時にはマスクやゴム手袋を着用する。マスクやゴム手袋を脱いだ後は、必ず石けんと流水で手を洗い、手指消毒をする。

#### 5. 大会参加者が遵守すべき事項

##### ① 大会参加前

ア 大会参加8日前から各自『体調管理表(別紙②)』『行動履歴書(別紙③)』を記入する。

イ 感染者、濃厚接触者、体調不良者となった場合、医療機関や療養施設、宿泊施設、自宅までの移動や輸送については参加校の責任で行い、事前に交通手段も決めておく。また、医療機関や療養施設、宿泊療養施設において、療養又は待機することになった場合も想定し、その際の滞在方法を事前に決めておく。

##### ② 大会参加当日

ア 監督・引率責任者は『体調管理集約シート(別紙④)』、競技役員は『体調管理チェックシート(別紙⑤)』を持参して、受付に提出する。受付での密を避けるために、可能な限り体温も各自測定したのちに来場する。

イ マスクを持参する。食事中を除いて、基本的にマスクを着用し、咳エチケットを徹底する。

- ウ 大会会場内では、大きな声での会話および声での応援をしない。
- エ 試合に出場する選手については、シールドを装着した面及び、マスク等口を覆うものを着用する。
- オ 飲食については、所定の場所以外では行わず、対面を避け、できるだけ周囲と間隔を取って、会話をひかえて速やかに済ませる。
- カ 大会前後の移動による感染防止として、公共交通機関による3密の回避を目的とした、宿舎－会場間の直行バスの利用をする。
- キ ゴミの廃棄について、鼻水や唾液などがついたゴミはビニール袋に入れ密閉して捨てる。

### ③大会参加後

- ア 各自記入した『体調管理表（別紙②）』を1ヵ月間保管する。
- イ 大会参加後3日以内に発症し、陽性となった場合は、速やかに濃厚接触者の有無等について所属する学校に報告するとともに、実行委員会事務局に報告する。

## 6. 観客への対応について

### ① 観客への健康チェックについて

会場入り口において検温を行う。

### ② 観客の会場での注意事項

- ア 会場内、会場周辺では、必ずマスクを着用する。
- イ こまめな手洗い、アルコール消毒による手指消毒、咳エチケットの遵守を徹底する。
- ウ 館内での食事は、原則禁止とする。
- エ 選手が会場内へ入退場する際の出待ちや選手への差し入れ等は禁止する。
- オ 会場内の移動でできるだけ最小限に留め、不要な移動は控える。移動する際、入退場の際は、人との距離を十分に確保する。
- カ 入退場の際は大会役員・競技委員の指示に従う。
- キ 感染予防のため、本対応方針に従う。

### ③ 応援等で禁止する行為

- ア 声を出しての応援
- イ マスクを外した応援（指笛等）
- ウ 飛沫する鳴り物を使っての応援
- エ 人と接触する応援（ハイタッチ・肩組み等）

## 6. その他

- ・ 本ガイドラインに基づき出場辞退となった場合、大会参加者が支払うPCR検査等費用、治療費、宿泊キャンセル料、交通費などの経費については、実行委員会は負担しない。
- ・ 今後の感染状況により、予防対策の変更及び大会を中止する場合がある。